

令和7年度

業務説明書

役務名：西24丁目線（南4条西24丁目）ほか大口径管調査業務

令和7年5月単価適用

札幌市下水道河川局事業推進部

業 務 説 明 書

1, 業 務 委 託 理 由

2, 調 査 番 号

本業務の調査番号は、 6235 とする。

3, 業 務 箇 所

(1) 中央区南4条西24丁目 (2) 白石区菊水元町8条3丁目

(3) 豊平区平岸4条14丁目 (4) 手稲区前田10条10丁目

ほか

4, 業 務 概 要

総延長 L=33, 430m

(1) 調査工 $\phi 2000\text{mm} \sim 4100 \times 4100\text{mm}$ L=33, 430m (別表のとおり)

(2) 修繕工 一 式

5, 履 行 期 間

契約締結日から令和8年3月19日までとする。

6, 仕 様 書

下水道管路保全業務仕様書【本管調査編】及び大口径管テレビカメラ調査業務仕様書【維持作業編】（共に下水道河川局庁舎1階閲覧室で公開）、特記仕様（下水道管路清掃に係る廃棄物収集運搬業務特記仕様書を含む）による。

特記仕様書

1, 交通誘導警備員について

交通誘導警備員は、下記に示す人員を見込んでいる。現地の状況、その他関係機関との協議により配置人員の増減、追加等が生じた場合は、業務監督員と別途協議すること。

調査箇所	標準作業帯	工種	配置人員	誘導員種別
公安委員会認定路線及び市街地	昼間	管内調査	3人以上	交通誘導警備員A・B
	夜間	管内調査	3人以上	交通誘導警備員A・B
上記以外	昼間	管内調査	3人以上	交通誘導警備員B
	夜間	管内調査	3人以上	交通誘導警備員B

※ 市街地とは人口集中地区（DID地区）及びこれに準じる地区を指す。

※ 現道に係る調査路線においては、交通誘導業務は原則として、警備業の認定を受けている会社に所属する警備員が行わなければならない。

※ 交通誘導警備員Aとは、交通誘導警備業務1級または2級検定合格警備員で、交通誘導警備員Bとはそれ以外のものをいう。

※ 公安委員会認定路線及び市街地での作業時には、交通誘導警備員Aを1人以上配置すること。

また、業務監督員に交通誘導警備員Aとしての資格が分かる資料を提示し、確認を受けること。

※ 市街地（公安委員会認定路線を除く）において交通誘導警備業務を行う場合で、検定合格警備員の配置が困難な場合は、その理由書と交通処理計画を業務監督員と協議し、対応を協議しなければならない。

2, 履行開始日について

本業務の履行開始日は、令和7年6月11日と想定して、履行期間の設定及び積算を行っているが、履行開始日が想定した日と異なっても設計変更の対象とはしない。

3, 産業廃棄物等の処理運搬等について

受託者は、下水道管内に作業上支障となる産業廃棄物等を発見した場合は業務監督員へ報告し、その処理運搬等の措置について協議を行うこと。

4, 管内調査、維持作業に係る留意事項について

1) 管内調査工法については、以下に示すとおりとする。ただし、水量調査で現場状況を確認し、その結果を元に業務監督員と協議し、調査工法を決定すること。

- ・大口径管テレビカメラ調査
- ・潜行目視調査
- ・船体式カメラ調査
- ・自走式カメラ調査

5, 水量調査について
1) マンホール目視調査工の実施は、【令和7年度】下水道管路維持管理業務仕様書の第4章計画的調査【人孔巡視調査】を参考に調査を実施し、成果を報告すること。
2) マンホール目視調査にあたり、マンホール内の洗浄が必要となる場合は、別途業務監督員と協議を行うこと。
3) マンホール内の滞水状況により、管内調査の工法が決定することから、マンホール目視調査から作業を開始すること。 なお、マンホール内の流下状況は都度業務監督員へ結果を報告することとし、報告の頻度は業務監督員と協議し決定すること。 報告に当たっては、別添「マンホール目視調査流下状況速報値」を使用することとし、この様式によりがたい場合は、業務監督員と提出様式の協議を行い決定すること。
4) マンホール目視調査結果から維持管理上、修繕作業の必要が生じた場合は、別途業務監督員と協議を行うこと。
5) 水量の計測箇所については、業務監督員と協議を行い決定すること。
6) 流量調査工の詳細については別添「下水道調査に係る流量調査業務特記仕様書」を参考に調査を実施し、成果を報告すること。
7) 業務監督員が指定する路線（4、管内調査、維持作業に係る留意事項について11）と同一管渠）については、令和7年7月31日までに調査結果を本市へ報告すること。
8) 前項に係る事項及びその他事項で疑義がある場合は、業務監督員と協議し決定すること。
6, 打音調査について
1) 本業務における打音調査は、「リバウンドハンマー試験」を実施することとし、現場条件により作業が困難である場合、業務監督員と協議を行い調査方法を決定すること。
2) 「リバウンドハンマー試験」の実施に当たっては、「JIS A1155 : 2012 コンクリートの反発度の測定方法」を参考に調査を行うこと。
3) 1箇所あたりの打撃回数は25回とし、有効打撃数は20回とする。
4) 業務監督員が指定する路線（4、管内調査、維持作業に係る留意事項について11）と同一管渠）については、令和7年7月31日までに調査結果を本市へ報告すること。
5) 前項に係る事項及びその他事項で疑義がある場合は、業務監督員と協議し決定すること。
7, 空洞調査について
1) 本業務における空洞調査は、本市が指定する判定基準で緊急度ⅠもしくはⅡと判定された管路のうち、異常が著しい箇所を対象に実施するものである。
2) 調査箇所については、管内調査後、調査結果を元に業務監督員と協議し、決定すること。
3) 空洞調査工の詳細については別添「土質調査特記仕様書」を参考に調査を実施し、成果を報告すること。

下水道管路清掃に係る廃棄物収集運搬業務特記仕様書

本業務の清掃工において、発生する汚泥等の収集・運搬に関しては、つぎのとおり適用する。

1, 収集・運搬

- (1) 収集・運搬とは、当該清掃業務履行区間において発生する下水道汚泥(土砂・沈砂等)を発注者の指定する受人施設に運搬することをいう。
- (2) 受託者は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の第14条第1項の業務許可証の写しを契約書に添付すること。また、許可事項に変更があったときには、その旨を発注者に通知するとともに、変更後の許可証の写しを提出すること。

2, 搬出先

下水道汚泥等の搬出先は、下水道河川局手稲沈砂洗浄センター(札幌市手稲区手稲山口271番地5)とする。
コンクリートくず等の汚泥運搬車で搬出できないものがあつた場合は、業務監督員と協議し、その指示に従うこと。なお、搬出先は、(株)公清企業 第2エコパーク(札幌市東区中沼町45番地57)とする。

3, 積替保管

受託者は、下水道汚泥の積替保管を行ってはならない。

4, 収集・運搬に関わる注意事項

- (1) 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、「産業廃棄物運搬車両であることの表示」と「許可証の写し等の書面の備え付け」を行うこと。
- (2) 悪臭の発生防止に努めること。
- (3) 他の廃棄物との混合を行ってはならない。
- (4) 運搬物が漏出又は飛散しないよう留意し、下水道施設又は路面などが汚染した場合は、受託者の責任において速やかに清掃、洗浄を行うこと。

5, マニフェスト

産業廃棄物管理票制度に従い、発注者の発行する管理票(マニフェスト)に必要な事項を記入し、適切な処理を行うこと。

下水道調査に係る流量調査業務特記仕様書

本業務の調査工において実施する流量調査に関しては、つぎのとおり適用する。

1, 基本事項

- (1) 計測期間は、本業務期間内で30日間とする。ただし、流量計の故障等により有効な計測データが取れない場合は計測期間の延長を業務監督員と協議の上、決定すること。
- (2) 計測箇所は、別紙「位置図」に示す箇所の中から業務監督員と協議の上、決定すること。

2, 作業内容

- (1) 流量計の設置撤去作業や巡回点検等を行い、計測データの整理を行う。
- (2) 計測期間中に流量計の巡回点検を設置後概ね7日間おきに計4回行うこと。
- (3) 使用する流量計は、面測式流量計（流速・水位法）を想定している。設置する下水道管内の条件において十分な成果を得られる機器を使用することとし、事前に業務監督員の承諾を得ること。
- (4) 計測データは、1分ピッチで収録させること。また、巡回点検にあわせてデータを抽出し、途中経過を把握すること。
- (5) 流量計の故障等による責任について、本市は負わないものとする。
- (6) 計測データを原資料と図表等の集計資料にとりまとめて整理し、全て報告書として提出すること。報告書の様式や内容等については、業務監督員の承諾を得ることとする。

3, 参考文献について

流量計の機器選定及び設置作業の実施等にあたっては以下の文献を参考にすること。

- (1) 下水道管きよ等における水位等観測を推進するための手引き（案）（平成29年7月）国土交通省
水管理・国土保全局下水道部
- (2) 下水道管路内流量・水質調査マニュアル（平成28年2月）一般社団法人全国上下水道コンサルタント協会

土質調査特記仕様書

1. 受託者は、各調査地点の位置及び調査順序等の詳細について、事前に担当職員と協議すること。
2. 受託者は、調査にあたり、私有地等を使用するときは事前に担当職員と協議すること。
3. 受託者は、作業の進捗状況を担当職員に報告すること。
4. 作業日報には、試験項目、進捗率、職種別作業人員及び使用機器等の作業内容を記載し業務完了時に担当職員に提出するものとする。
5. ボーリング作業を行うにあたり、事前に地下埋設物を調査し損傷を与えないよう特に注意するとともに、作業区間の安全確保に万全を期し、事故防止に努めること。
6. ボーリングは、一孔完了ごとにその深度等の確認のため、担当職員の立会いまたは、写真等により検査を受けるものとする。
7. 調査によりあけられたボーリング孔は、担当職員の立ち会い検査後必ず砂等により充填すること。
8. 作業を完了したボーリング地点には、孔番、深度、完了年月日及び受託者を明記した標識を設置し、その位置を明確にするものとする。また、業務完了検査後は速やかに撤去すること。
10. 地質構成の判定及びその他解析業務等は、事前に担当職員と十分協議を行うものとする。
11. その他、調査に必要な項目は、担当職員と協議を行うものとする。
12. ボーリング柱状図については、次頁以降の作成要領に準拠すること。

【ボーリング柱状図作成要領】

本要領は、「ボーリング柱状図作成要領（案）解説書」（建設省大臣官房技術調査室監修）に基づき、ボーリング調査において作成する柱状図の作成要領である。その記入要領は次による。

1. 調査名

調査名を発注業務にそって記入する。

記入例： 西 24 丁目線（南 4 条西 24 丁目）ほか大口径管調査業務

2. 事業・工事名

業務名が地区名等で決められている場合、発注業務名だけではどの工事の調査であるのか不明であることが多いので、幹線番号や幹線名がある場合には記入すること。

3. ボーリング No.（コード番号）

本市は特に記入の必要はない。

4. ボーリング名

ボーリング名は下記を参考に監督員と協議しボーリング名を決定することとする。

例) B— 新設ボーリング———— B-1 (H-10), B-2(H-10)

注) (H-○)：平成, (S-○)：昭和

5. 調査位置, 緯度, 経度

調査位置については、調査現場の地名（区、地区名、条丁目、番地）を記入する。

緯度・経度については、国土地理院 1/25,000 地形図より、孔口の緯度・経度を 1 秒単位まで求め記入する。国土基本図、あるいはその他の大縮尺地形図等があればそれらをもとに 1/10 秒単位まで記入する。なお、1 秒は 1/25,000 地形図上では約 1 mm の長さとなるが、緯度によって異なるので地点ごとに求める。

6. 発注機関

発注機関は、「札幌市下水道河川局事業推進部管路保全課管路保全係」のように記入する。

7. 調査期間

調査期間は、「業務開始の日から〇〇日間」または「令和〇〇年〇月〇日まで」と記入する。

8. 調査業者名等

調査業務名, 主任技師, 現場代理人, コア鑑定者, ボーリング責任者を必要項目について記入する。

9. 孔口標高

孔口標高 H を測量結果に基づき, 1/100m 単位まで記入する。

10. 総掘進長

総掘進長は調査対象となるボーリング区間を 1/100m 単位まで記入する。

11. 角 度

角度は、鉛直線となす角度を図 2-1 の例によって記入する。

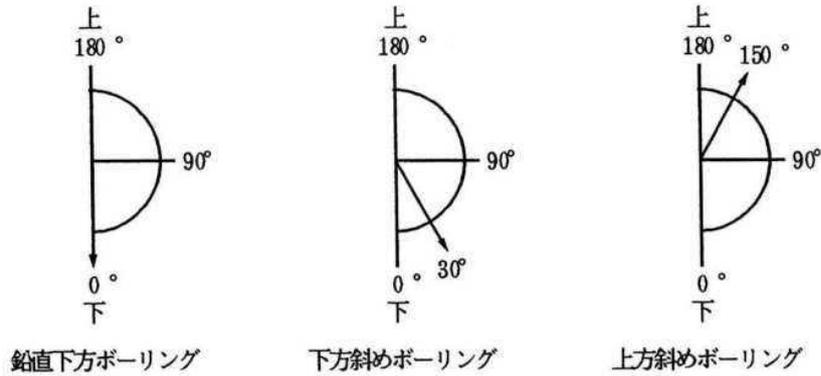


図 2-1 ボーリングの角度の表示例

なお、角度は孔口における掘進角度を記入し、穴曲り計測を行った時には、その結果を原位置試験の欄に記入する。

12. 方 向

方向については、斜めボーリングの時に記入し、掘進の方向を真北より右回り 360° 方位法で図 2-2 の例のように示す。なお、方向は孔口における掘進方向を記入し、穴曲り計測を行ったときは、11. と同様とする。

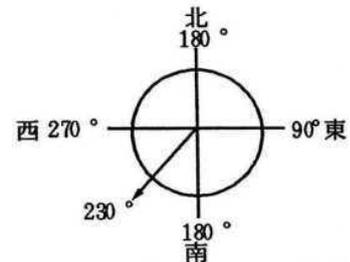


図 2-2 ボーリングの方向

13. 地盤勾配

地盤勾配は、下方ボーリングのみについて、孔口を中心に傾斜上下方向各々5m程度の範囲の平均勾配を図 2-3 のように記入する。地盤勾配は、作業能率、穴曲り等に影響するので掘進の記録として残すものである。

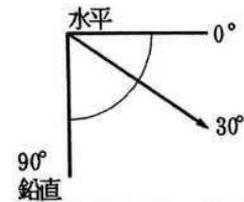


図 2-3 地盤勾配の表示例

14. 使用機種

使用機種については、試錐機、エンジン、ポンプのメーカー名、型式記号、能力について記入する。

ハンマー落下用具は、トンビ、コーンプリーまたは自動落下の区別を記入する。

15. 標 尺

標尺は、孔口を起点に 1m 毎に記入する。縮尺は 1/100 を原則とする。

16. 標 高

標高については、19. の土質区分毎にその標高を記入する。斜めボーリングについても標高を求め記入する。

17. 深 度

深度については、土質区分毎にその孔口からの距離をもとに記入する。

18. 層 厚

層厚は、土質区分毎の区間長を記入する。

19. 柱状図，土質区分

柱状図及び土質区分は，日本統一土質分類を基調に図 2-4 によって下記に留意し記入する。

第 1 分類			第 2 分類			第 3 分類			
区分	分類名	図模様	区分	分類名	図模様	区分	分類名	図模様	
土質材料	礫 (G)	○ ○ ○	補助記号	砂質 (S)	////	岩石材料	岩盤	硬岩 (HR)	
	礫質土 (GF)	○ ○ ○ ○		シルト質 (M)	////			中硬岩 (MR)	
	砂 (S)	● ● ● ●		粘土質 (C)	////			軟岩, 風化岩 (WR)	
	砂質土 (SF)	● ● ● ●		有機質 (O)		玉石 (B)	○ ○		
	シルト (M)	-----		火山灰質 (V)	~~~~~	特殊土材料	浮石 (軽石) (Pm)	△ △ △ △	
	粘性土 (C)	=====		玉石混り (-B)	○ ○ ○ ○		シラス (Si)	△ △ △ △	
	有機質土 (O)			砂利, 礫混り (-G)	● ● ● ●		スコリア (Sc)	▲ ▲ ▲ ▲	
	火山灰質粘性土 (V)	~~~~~		砂混り (-S)	● ● ● ●		火山灰 (VA)	~~~~~	
	高有機質土 (Pt)			シルト混り (-M)	-----		ローム (Lm)	△ △ △ △	
		粘土混り (-C)		////	黒ボク (Kb)				
		有機質土混り (-O)			マサ (WG)				
		火山灰混り (-V)		~~~~~	表土 (Ss)	XXXX			
		貝殻混り (-Sh)		○ ○ ○ ○	埋土 (FI)	XXXX			
				廃棄物 (W)	XXXX				

図 2-4 土質柱状図記号

① 土質については第 1 分類によって記入し，必要に応じて例えば図 2-5 のように第 2 分類との組合せとする。

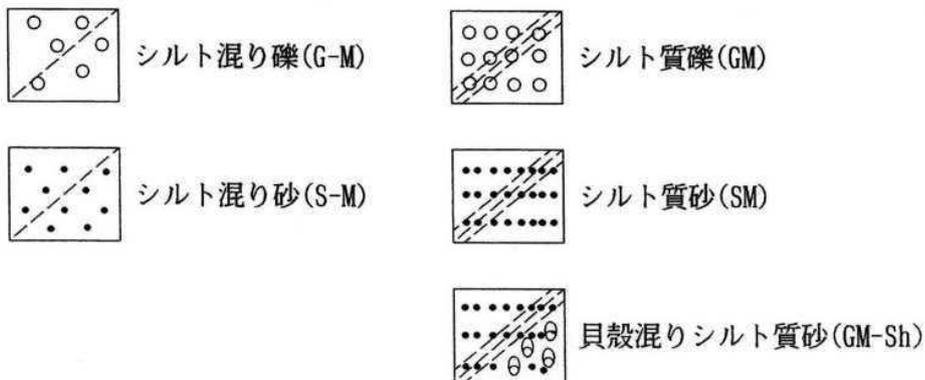


図 2-5 第 1 分類と第 2 分類の組合せの例

② 互層については，おおよその構成比によって欄を縦割にし，図 2-6 の例のように記入する。



図 2-6 互層の表示例

③ 土質のうち，特殊土，岩盤，玉石については，第 3 分類によって記入する。

④ 表土，埋土，廃棄物については第 3 分類を用いて記入し，記事の欄に土質材料等を記載する。

20. 色 調

色調は、明るい自然光の中で、湿潤状態で観察する。表現に用いる色は「黒・褐・赤・橙・黄・緑・青・紫・白」を基本色とし、基本色以外は基本色の組み合わせ（原則として2色）とする。基本色の組み合わせは主色の前に従色を冠する。また、必要に応じて「濃」及び「淡」の形容詞をつけると共に、黒味を帯びる時は「暗」の形容詞を付ける。従色が特に微弱な時は「帯」の形容詞を付ける。礫岩など雑多な色を呈する時は何色と何色の「雑色」、色が混じっている時は何色と何色の「斑色」とする。

この他、赤白色は桃色、褐色は茶色等慣用的な表現を用いた時が適切な時は、それらを用いてよいこととする。

21. 相対密度，相対稠度

相対密度及び相対稠度は、表2-1～2-3を参考にする。

表2-1 砂地盤の相対密度の表現法

相 対 密 度	N 値
非常に緩い	0～4
緩い	4～10
中ぐらい	10～30
密な	30～50
非常に密な	50以上

表2-2 粘土地盤の相対稠度の表現法

相 対 稠 度	N 値
非常に軟い	0～2
軟い	2～4
中ぐらい	4～8
硬い	8～15
非常に硬い	15～30
特別に硬い	30以上

表2-3 細粒土の相対稠度区分と状態表現

状態表現	現場における判別方法 (原位置土に対する親指試験)
軟らかい	親指をたやすく押し込める
中位	かなり力を入れないと親指は押し込めない
硬い	親指でへこませることはできるが、親指を貫入させるには大きな力を要する
非常に硬い	親指の爪はたやすく入る
固結した	親指の爪も入らない

22. 記事

記事には次のようなものを深度と共に記入するが、ボーリングの目的に応じて適切な観察を行い、適切な記事を記入する。

地盤の地質年代的区分

沖積層、洪積層等

① 地盤の成因的区分

表土、崖錐堆積物、段丘堆積物、火山噴出物、土石流堆積物、泥流堆積物、風化岩及び盛土廃棄物等

② 土質の特徴

粒度構成、礫の形態、腐植質、有機質、貝殻、含水状態等

③ 掘進作業における特記事項

23. 空欄

空欄は、その他の組織的に区分し記載する事項があればそれについて記入する。
欄が不足すれば、記事の欄を利用して設けるとよい。

24. 孔内水位

孔内水位欄は、原則として自然水位Hを記入し、測定月日を併記する。

25. 標準貫入試験

標準貫入試験は、深度、10 cm毎の打撃回数／貫入量を記入する。N値については、折れ線グラフを用いて表す。

26. 原位置試験

原位置試験は、物理検層、孔内載荷試験等の試験について、試験深度、試験名及び試験結果を記入する。なお、試験結果については、本様式が合わないときは別途柱状図様式を作成して記入するものとする。

27. 試料採取

試料採取は、採取深度、試料番号、採取方法について記入する。

28. 掘進月日

掘進月日は、日毎の掘進区間を記入する。

29. 試験等の記号例

表 2-4 原位置試験等の記号例

記号	原位置試験等の名称
S	標準貫入試験
L	孔内水平載荷試験
P _T	現場透水試験
P _W	間隙水圧測定
T	シンウォールサンプリング
D	デニソンサンプリング
T _r	サンドサンプリング

30. 地盤高の基準

土質調査の地盤高は、下水道河川局設置の補助水準点を使用することを原則とする。

調査数量表

(別表)

業務名:西24丁目線(南4条西24丁目)ほか大口径管調査業務

No	施設重要度	竣功年	経過年数	住所	作業区分	排除方式	管渠断面	管径	延長	管種	調査方法
1	線の施設	昭和37年	62年	南4条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	76.68	C	TV
2	線の施設	昭和37年	62年	南4条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	40.27	C	TV
3	線の施設	昭和37年	62年	南5条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	76.73	C	TV
4	線の施設	昭和37年	62年	南5条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	58.90	C	TV
5	線の施設	昭和37年	62年	南4条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	4.75	C	TV
6	線の施設	昭和37年	62年	南3条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	107.57	C	TV
7	線の施設	昭和37年	62年	南2条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	58.07	C	TV
8	線の施設	昭和37年	62年	南2条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	61.19	C	TV
9	線の施設(重要)	昭和37年	62年	南1条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	88.04	C	TV
10	線の施設(重要)	昭和37年	62年	大通西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	13.00	C	TV
11	線の施設(重要)	昭和38年	61年	大通西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	76.38	C	TV
12	線の施設	昭和38年	61年	大通西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	70.91	C	TV
13	線の施設	昭和38年	61年	北1条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	51.40	C	再判定
14	線の施設(重要)	昭和38年	61年	北1条西23丁目	夜間	合流	円形管	2000	72.05	C	再判定
15	線の施設(重要)	昭和38年	61年	北1条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	14.47	C	TV
16	線の施設(重要)	昭和38年	61年	北1条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	67.16	C	TV
17	線の施設	昭和38年	61年	北2条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	66.53	C	TV
18	線の施設	昭和38年	61年	北3条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	2.50	C	TV
19	線の施設	昭和38年	61年	北2条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	61.34	C	TV
20	線の施設	昭和38年	61年	北3条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	77.82	C	TV
21	線の施設	昭和38年	61年	北3条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	4.50	C	TV
22	線の施設	昭和38年	61年	北3条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	56.96	C	TV
23	線の施設	昭和38年	61年	北4条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	66.10	C	TV
24	線の施設(重要)	昭和38年	61年	北4条西23丁目	夜間	合流	円形管	2000	55.10	C	TV
25	線の施設(重要)	昭和38年	61年	北5条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	20.30	C	TV
26	線の施設(重要)	昭和38年	61年	北5条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	74.07	C	TV
27	線の施設	昭和38年	61年	北5条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	46.85	C	TV
28	線の施設	昭和38年	61年	北6条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	63.35	C	TV
29	線の施設	昭和36年	63年	北6条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	64.80	C	TV
30	線の施設	昭和36年	63年	北7条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	129.09	C	TV
31	線の施設	昭和36年	63年	北8条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	128.10	C	TV
32	線の施設	昭和36年	63年	北9条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	129.09	C	TV
33	線の施設	昭和36年	63年	北10条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	39.50	C	TV
34	線の施設	昭和36年	63年	北10条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	94.80	C	TV
35	線の施設	昭和36年	63年	北10条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	32.00	C	TV
36	線の施設(重要)	昭和36年	63年	北10条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	8.00	C	TV
37	線の施設(重要)	昭和46年	53年	北10条西24丁目	夜間	雨水	円形管	2000	19.00	C	TV
38	線の施設	昭和52年	47年	前田10条10丁目	夜間	合流	円形管	2400	210.25	C	目視
39	線の施設	昭和52年	47年	前田10条10丁目	夜間	合流	円形管	2400	44.98	C	目視
40	点的施設	昭和52年	47年	前田10条10丁目	夜間	合流	円形管	2400	45.51	C	目視
41	線の施設(重要)	昭和55年	44年	北45条東1丁目	夜間	合流	円形管	3000	54.91	C	再判定
42	線の施設(重要)	昭和55年	44年	北43条東1丁目	夜間	合流	円形管	3500	246.20	C	再判定
43	線の施設(重要)	昭和59年	40年	北38条西2丁目	夜間	合流	円形管	3000	287.66	C	目視
44	線の施設(重要)	昭和59年	40年	北38条西2丁目	夜間	合流	円形管	3000	211.49	C	目視
45	線の施設(重要)	昭和55年	44年	北40条東1丁目	夜間	合流	円形管	3500	395.40	C	再判定
46	線の施設(重要)	昭和59年	40年	北38条西2丁目	夜間	合流	円形管	3000	410.32	C	目視
47	面の施設	昭和60年	39年	北34条西7丁目	夜間	合流	円形管	2600	273.00	C	目視
48	線の施設(重要)	昭和60年	39年	北33条西7丁目	夜間	合流	円形管	2600	36.38	C	目視
49	線の施設	昭和61年	38年	北31条西8丁目	夜間	合流	円形管	2400	35.54	C	目視
50	線の施設	昭和61年	38年	北31条西8丁目	夜間	合流	円形管	2400	315.05	C	目視
51	線の施設	昭和61年	38年	北30条西8丁目	夜間	合流	円形管	2400	18.96	C	目視
52	線の施設	昭和61年	38年	北30条西8丁目	夜間	合流	円形管	2400	6.78	C	目視
53	面の施設	昭和59年	40年	北38条西2丁目	夜間	合流	円形管	3000	60.00	C	目視
54	線の施設(重要)	昭和55年	44年	北39条東1丁目	夜間	合流	円形管	3500	228.36	C	再判定
55	線の施設(重要)	昭和60年	39年	北34条西7丁目	夜間	合流	円形管	2600	136.94	C	目視
56	線の施設	昭和60年	39年	北34条西7丁目	夜間	合流	円形管	2600	140.04	C	目視
57	線の施設(重要)	昭和59年	40年	北36条西2丁目	夜間	合流	円形管	3000	131.78	C	目視
58	線の施設(重要)	昭和55年	44年	北36条東1丁目	夜間	合流	円形管	3500	316.45	C	目視
59	線の施設(重要)	昭和59年	40年	北36条西2丁目	夜間	合流	円形管	3000	120.00	C	目視
60	線の施設	昭和60年	39年	北34条西7丁目	夜間	合流	円形管	2600	114.76	C	目視
61	面の施設	昭和60年	39年	北35条西6丁目	夜間	合流	円形管	2600	196.00	C	目視
62	線の施設(重要)	平成3年	33年	北34条西2丁目	夜間	合流	円形管	2200	134.18	C	目視
63	線の施設(重要)	昭和55年	44年	北34条東2丁目	夜間	合流	円形管	3500	45.95	C	再判定
64	線の施設(重要)	昭和55年	44年	北34条東2丁目	夜間	合流	円形管	3500	184.05	C	再判定

調査数量表

(別表)

業務名:西24丁目線(南4条西24丁目)ほか大口径管調査業務

No	施設重要度	竣功年	経過年数	住所	作業区分	排除方式	管渠断面	管径	延長	管種	調査方法
65	線の施設(重要)	昭和55年	44年	北30条東1丁目	夜間	合流	円形管	3500	246.57	C	目視
66	線の施設(重要)	昭和55年	44年	北30条東1丁目	夜間	合流	円形管	3500	270.00	C	目視
67	線の施設	昭和47年	52年	発寒4条3丁目	昼間	合流	円形管	2000	93.55	C	TV
68	線の施設	昭和47年	52年	発寒4条2丁目	昼間	合流	円形管	2000	92.87	C	TV
69	線の施設	昭和47年	52年	発寒4条1丁目	昼間	合流	円形管	2000	79.25	C	再判定
70	線の施設	昭和47年	52年	発寒4条1丁目	昼間	合流	円形管	2000	38.40	C	再判定
71	線の施設	昭和47年	52年	発寒4条1丁目	昼間	合流	円形管	2000	45.93	C	再判定
72	線の施設	昭和46年	53年	発寒3条1丁目	昼間	雨水	円形管	2100	21.00	C	目視
73	線の施設	昭和46年	53年	発寒4条1丁目	昼間	合流	円形管	2400	44.04	C	再判定
74	線の施設	昭和46年	53年	発寒4条1丁目	昼間	雨水	円形管	2100	33.64	C	目視
75	線の施設(重要)	昭和46年	53年	発寒3条1丁目	昼間	雨水	開渠	3500	2.23	C	目視
76	線の施設(重要)	昭和55年	44年	北24条東1丁目	夜間	合流	円形管	3250	538.35	C	目視
77	線の施設(重要)	昭和55年	44年	北25条西2丁目	夜間	合流	円形管	3250	244.15	C	目視
78	線の施設	昭和61年	38年	北25条西8丁目	夜間	合流	円形管	2400	631.80	C	目視
79	線の施設(重要)	昭和62年	37年	北24条西8丁目	夜間	合流	円形管	2200	155.88	C	目視
80	線の施設(重要)	昭和62年	37年	北23条西8丁目	夜間	合流	円形管	2200	95.95	C	目視
81	線の施設	昭和64年	35年	北23条西7丁目	夜間	合流	円形管	2200	131.17	C	目視
82	線の施設	昭和64年	35年	北23条西6丁目	夜間	合流	円形管	2000	114.14	C	TV
83	線の施設(重要)	昭和55年	44年	北20条東1丁目	夜間	合流	円形管	3250	700.35	C	特殊
84	線の施設(重要)	昭和55年	44年	北14条東1丁目	夜間	合流	円形管	3000	13.00	C	目視
85	線の施設(重要)	昭和58年	41年	二十四軒2条1丁目	夜間	汚水	円形管	2000	212.35	C	TV
86	線の施設(重要)	昭和62年	37年	八軒3条東5丁目	夜間	汚水	円形管	2000	171.90	C	TV
87	線の施設(重要)	昭和58年	41年	二十四軒1条1丁目	夜間	汚水	円形管	2000	209.59	C	TV
88	線の施設(重要)	昭和58年	41年	二十四軒1条1丁目	夜間	汚水	円形管	2000	170.76	C	TV
89	線の施設(重要)	昭和58年	41年	二十四軒1条3丁目	夜間	汚水	円形管	2000	240.53	C	TV
90	線の施設(重要)	昭和55年	44年	北14条東1丁目	夜間	合流	円形管	3000	831.34	C	目視
91	線の施設(重要)	昭和55年	44年	北13条東1丁目	夜間	合流	円形管	2800	116.51	C	特殊
92	線の施設(重要)	昭和55年	44年	北8条西1丁目	夜間	合流	円形管	2800	217.20	C	目視
93	線の施設(重要)	昭和55年	44年	北11条西1丁目	夜間	合流	円形管	2800	129.80	C	目視
94	線の施設(重要)	昭和55年	44年	北11条西1丁目	夜間	合流	円形管	2800	10.00	C	目視
95	線の施設(重要)	昭和55年	44年	北8条西1丁目	夜間	合流	円形管	2800	363.10	C	目視
96	線の施設(重要)	昭和55年	44年	北8条西1丁目	夜間	合流	円形管	2800	39.00	C	目視
97	線の施設(重要)	昭和58年	41年	北5条西1丁目	夜間	合流	円形管	2000	39.96	C	TV
98	線の施設(重要)	昭和55年	44年	北5条西1丁目	夜間	合流	円形管	2800	339.80	C	目視
99	線の施設	昭和49年	50年	菊水元町8条3丁目	夜間	合流	円形管	2100	85.09	C	目視
100	線の施設	昭和49年	50年	菊水元町8条3丁目	夜間	合流	円形管	2100	78.01	C	目視
101	線の施設(重要)	昭和58年	41年	大通西1丁目	夜間	合流	円形管	2000	285.37	C	TV
102	線の施設(重要)	昭和58年	41年	大通西1丁目	夜間	合流	円形管	2000	168.56	C	TV
103	線の施設(重要)	昭和58年	41年	大通西1丁目	夜間	合流	円形管	2000	322.12	C	TV
104	線の施設(重要)	昭和58年	41年	南1条西1丁目	夜間	合流	円形管	2000	113.31	C	TV
105	線の施設	昭和62年	37年	菊水上町4条2丁目	夜間	雨水	円形管	2400	125.88	C	目視
106	線の施設	昭和62年	37年	菊水上町4条1丁目	夜間	雨水	円形管	2400	39.61	C	目視
107	線の施設	昭和62年	37年	菊水上町4条1丁目	夜間	雨水	円形管	2400	80.51	C	再判定
108	線の施設	昭和58年	41年	菊水元町1条1丁目	夜間	雨水	円形管	2400	141.38	C	目視
109	線の施設	昭和62年	37年	菊水上町4条1丁目	夜間	雨水	円形管	2400	45.95	C	再判定
110	線の施設(重要)	昭和62年	37年	菊水上町4条2丁目	夜間	雨水	円形管	2400	198.22	C	目視
111	線の施設(重要)	昭和62年	37年	菊水上町3条3丁目	夜間	雨水	円形管	2400	187.67	C	目視
112	線の施設	昭和62年	37年	菊水上町3条3丁目	夜間	雨水	円形管	2400	130.17	C	目視
113	線の施設	昭和62年	37年	中央2条2丁目	夜間	雨水	円形管	2400	259.73	C	目視
114	線の施設	平成2年	34年	中央3条4丁目	夜間	合流	円形管	2000	4.50	C	TV
115	線の施設	昭和62年	37年	中央2条3丁目	夜間	雨水	円形管	2200	74.48	C	目視
116	線の施設	昭和62年	37年	中央2条4丁目	夜間	雨水	円形管	2200	97.93	C	目視
117	線の施設	平成2年	34年	中央3条4丁目	夜間	合流	円形管	2000	276.58	C	TV
118	線の施設	平成2年	34年	中央3条4丁目	夜間	合流	円形管	2000	18.65	C	TV
119	線の施設	平成2年	34年	中央3条4丁目	夜間	合流	円形管	2000	60.20	C	TV
120	線の施設	昭和62年	37年	中央2条3丁目	夜間	雨水	円形管	2200	182.30	C	目視
121	線の施設	平成2年	34年	中央3条5丁目	夜間	合流	円形管	2000	99.38	C	TV
122	線の施設	平成2年	34年	中央3条6丁目	夜間	合流	円形管	2000	162.45	C	TV
123	線の施設	昭和60年	39年	菊水元町6条4丁目	夜間	汚水	円形管	2000	272.69	C	TV
124	線の施設	昭和60年	39年	菊水元町7条4丁目	夜間	汚水	円形管	2000	9.16	C	TV
125	線の施設	昭和37年	62年	南6条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	44.93	C	TV
126	線の施設	昭和37年	62年	南6条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	44.93	C	TV
127	線の施設	昭和37年	62年	南6条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	60.50	C	TV

調査数量表

(別表)

業務名:西24丁目線(南4条西24丁目)ほか大口径管調査業務

No.	施設重要度	竣功年	経過年数	住所	作業区分	排除方式	管渠断面	管径	延長	管種	調査方法
128	線の施設	昭和37年	62年	南7条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	61.74	C	TV
129	線の施設	昭和37年	62年	南7条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	29.28	C	TV
130	線の施設	昭和37年	62年	南6条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	60.99	C	TV
131	線の施設(重要)	昭和59年	40年	南8条西24丁目	夜間	合流	円形管	2000	185.00	C	TV
132	線の施設(重要)	昭和57年	42年	南10条西20丁目	夜間	合流	円形管	2800	272.93	C	目視
133	線の施設(重要)	昭和57年	42年	南12条西20丁目	夜間	合流	円形管	2600	258.51	C	目視
134	線の施設(重要)	平成2年	34年	南13条西21丁目	夜間	合流	円形管	2000	134.75	C	TV
135	線の施設	昭和59年	40年	南13条西20丁目	夜間	合流	円形管	2600	94.84	C	目視
136	線の施設	昭和58年	41年	南13条西21丁目	夜間	合流	円形管	2600	59.22	C	目視
137	線の施設	昭和58年	41年	南13条西21丁目	夜間	合流	円形管	2600	102.70	C	目視
138	線の施設	昭和58年	41年	南15条西17丁目	夜間	合流	円形管	2000	232.00	C	TV
139	線の施設	昭和58年	41年	南16条西18丁目	夜間	合流	円形管	2000	241.40	C	TV
140	線の施設	昭和47年	52年	美園12条8丁目	夜間	合流	円形管	2000	40.36	C	特殊
141	線の施設	昭和47年	52年	美園12条8丁目	夜間	合流	円形管	2000	37.70	C	特殊
142	線の施設	昭和47年	52年	美園12条8丁目	夜間	合流	円形管	2000	35.00	C	特殊
143	線の施設	昭和47年	52年	平岸7条13丁目	夜間	合流	円形管	2000	22.29	C	特殊
144	線の施設	昭和47年	52年	平岸7条13丁目	夜間	合流	円形管	2000	46.00	C	特殊
145	線の施設	昭和48年	51年	月寒中央通1丁目	夜間	合流	円形管	2000	48.71	C	特殊
146	線の施設	昭和44年	55年	美園2条8丁目	夜間	合流	円形管	2000	35.60	C	特殊
147	線の施設	昭和44年	55年	月寒東1条1丁目	夜間	合流	円形管	2000	26.50	C	特殊
148	線の施設	昭和44年	55年	月寒東1条1丁目	夜間	合流	円形管	2000	120.09	C	特殊
149	線の施設	昭和46年	53年	美園5条8丁目	夜間	合流	円形管	2000	153.10	C	特殊
150	線の施設(重要)	昭和45年	54年	美園4条8丁目	夜間	合流	円形管	2000	86.03	C	特殊
151	線の施設	昭和46年	53年	月寒西1条3丁目	夜間	合流	円形管	2000	152.17	C	特殊
152	線の施設	昭和47年	52年	月寒西1条3丁目	夜間	合流	円形管	2000	53.41	C	特殊
153	線の施設	昭和47年	52年	美園7条8丁目	夜間	合流	円形管	2000	89.42	V	特殊
154	線の施設(重要)	昭和47年	52年	平岸4条14丁目	夜間	合流	円形管	2000	101.00	C	再判定
155	線の施設(重要)	昭和47年	52年	平岸4条14丁目	夜間	合流	円形管	2000	139.62	C	再判定
156	線の施設(重要)	昭和47年	52年	平岸4条14丁目	夜間	合流	円形管	2000	163.03	C	特殊
157	線の施設(重要)	昭和46年	53年	平岸5条14丁目	夜間	合流	円形管	2000	109.50	C	特殊
158	線の施設(重要)	昭和46年	53年	平岸5条14丁目	夜間	合流	円形管	2000	109.50	C	特殊
159	線の施設(重要)	昭和46年	53年	平岸6条14丁目	夜間	合流	円形管	2000	130.63	C	特殊
160	線の施設	昭和46年	53年	平岸7条13丁目	夜間	合流	円形管	2000	198.62	C	特殊
161	線の施設	昭和47年	52年	平岸7条13丁目	夜間	合流	円形管	2000	46.00	C	TV
162	線の施設	昭和47年	52年	平岸7条13丁目	夜間	合流	円形管	2000	44.40	C	TV
163	線の施設	昭和54年	45年	清田1条1丁目	夜間	雨水	円形管	2000	25.40	C	TV
164	線の施設	昭和54年	45年	北野2条3丁目	夜間	雨水	円形管	2000	176.66	C	TV
165	線の施設	昭和54年	45年	北野2条3丁目	夜間	雨水	円形管	2000	34.78	C	TV
166	線の施設	昭和54年	45年	北野2条3丁目	夜間	雨水	円形管	2000	48.19	C	TV
167	線の施設	昭和54年	45年	北野2条3丁目	夜間	雨水	円形管	2000	41.27	C	TV
168	線の施設	昭和54年	45年	北野2条3丁目	夜間	雨水	円形管	2000	49.08	C	TV
169	線の施設	昭和54年	45年	北野2条3丁目	夜間	雨水	円形管	2000	96.64	C	TV
170	線の施設	昭和54年	45年	北野2条3丁目	夜間	雨水	円形管	2000	26.81	C	再判定
171	線の施設	昭和54年	45年	北野2条3丁目	夜間	雨水	円形管	2000	87.32	C	TV
172	線の施設	昭和51年	48年	曙12条1丁目	夜間	合流	矩形管	4100	10.00	C	目視
173	線の施設(重要)	昭和51年	48年	曙12条1丁目	夜間	合流	矩形管	4100	44.63	C	目視
174	線の施設	昭和51年	48年	曙12条1丁目	夜間	合流	矩形管	4100	25.04	C	目視
175	線の施設	昭和51年	48年	曙12条1丁目	夜間	合流	矩形管	4100	2.00	C	目視
176	線の施設(重要)	昭和51年	48年	曙12条1丁目	夜間	合流	矩形管	4100	76.26	C	目視
177	線の施設(重要)	昭和51年	48年	前田10条20丁目	夜間	合流	矩形管	2600	38.76	C	目視
178	面の施設	昭和51年	48年	曙12条1丁目	夜間	合流	矩形管	3700	203.71	C	目視
179	線の施設(重要)	昭和51年	48年	前田10条20丁目	夜間	合流	矩形管	2600	121.80	C	目視
180	線の施設	昭和51年	48年	前田10条20丁目	夜間	合流	矩形管	2600	6.70	C	目視
181	面の施設	昭和51年	48年	曙12条1丁目	夜間	合流	矩形管	3700	160.00	C	目視
182	線の施設(重要)	昭和51年	48年	前田10条20丁目	夜間	合流	矩形管	2600	103.00	C	目視
183	線の施設(重要)	昭和51年	48年	前田10条20丁目	夜間	合流	矩形管	2600	176.00	C	目視
184	線の施設(重要)	昭和51年	48年	前田10条20丁目	夜間	合流	矩形管	2600	77.00	C	目視
185	線の施設	昭和54年	45年	前田10条20丁目	夜間	合流	矩形管	2600	4.00	C	目視
186	線の施設(重要)	昭和51年	48年	前田10条19丁目	夜間	合流	矩形管	2600	175.50	C	目視
187	線の施設	昭和51年	48年	前田10条18丁目	夜間	合流	矩形管	2600	4.50	C	目視
188	線の施設	昭和51年	48年	前田10条17丁目	夜間	合流	矩形管	2600	22.00	C	目視
189	線の施設	昭和51年	48年	前田10条17丁目	夜間	合流	矩形管	2600	138.00	C	目視
190	線の施設	昭和51年	48年	前田10条17丁目	夜間	合流	矩形管	2600	18.00	C	目視

調査数量表

(別表)

業務名:西24丁目線(南4条西24丁目)ほか大口径管調査業務

No	施設重要度	竣功年	経過年数	住所	作業区分	排除方式	管渠断面	管径	延長	管種	調査方法
191	線の施設	昭和51年	48年	前田10条17丁目	夜間	合流	矩形管	2600	15.00	C	目視
192	線の施設	昭和51年	48年	前田10条18丁目	夜間	合流	矩形管	2600	143.00	C	目視
193	線の施設	昭和51年	48年	前田10条17丁目	夜間	合流	矩形管	2600	4.00	C	目視
194	線の施設	昭和51年	48年	前田10条16丁目	夜間	合流	矩形管	2600	52.42	C	目視
195	線の施設	昭和51年	48年	前田10条17丁目	夜間	合流	矩形管	2600	142.60	C	目視
196	線の施設	昭和52年	47年	前田10条17丁目	夜間	合流	矩形管	2600	100.00	C	目視
197	線の施設	昭和51年	48年	前田10条16丁目	夜間	合流	矩形管	2600	5.00	C	目視
198	線の施設	昭和51年	48年	前田10条15丁目	夜間	合流	矩形管	2600	175.00	C	目視
199	線の施設	昭和52年	47年	前田10条15丁目	夜間	合流	矩形管	2600	50.00	C	目視
200	線の施設	昭和52年	47年	前田10条15丁目	夜間	合流	矩形管	2600	67.80	C	目視
201	線の施設	昭和52年	47年	前田10条15丁目	夜間	合流	矩形管	2250	18.20	C	目視
202	線の施設	昭和52年	47年	前田10条15丁目	夜間	合流	矩形管	2600	5.00	C	目視
203	線の施設	昭和51年	48年	前田10条15丁目	夜間	合流	矩形管	2600	5.00	C	目視
204	線の施設	昭和51年	48年	前田10条15丁目	夜間	合流	矩形管	2600	86.20	C	目視
205	線の施設	昭和52年	47年	前田10条15丁目	夜間	合流	矩形管	2600	6.00	C	目視
206	線の施設	昭和52年	47年	前田10条15丁目	夜間	合流	矩形管	2250	75.00	C	目視
207	線の施設	昭和52年	47年	前田10条12丁目	夜間	合流	矩形管	2250	30.20	C	目視
208	線の施設	昭和52年	47年	前田10条11丁目	夜間	合流	矩形管	2250	215.00	C	目視
209	線の施設	昭和52年	47年	前田10条13丁目	夜間	合流	矩形管	2250	189.80	C	目視
210	線の施設	昭和52年	47年	前田10条12丁目	夜間	合流	矩形管	2250	5.00	C	目視
211	線の施設	昭和52年	47年	前田10条11丁目	夜間	合流	矩形管	2250	5.00	C	目視
212	線の施設	昭和52年	47年	前田10条12丁目	夜間	合流	矩形管	2250	1.80	C	目視
213	線の施設(重要)	昭和52年	47年	前田10条11丁目	夜間	合流	矩形管	2250	204.00	C	目視
214	線の施設(重要)	昭和52年	47年	前田10条10丁目	夜間	合流	矩形管	2400	45.40	C	目視
215	線の施設(重要)	昭和55年	44年	麻生町8丁目	夜間	合流	矩形管	4000	2.90	C	目視
216	線の施設(重要)	昭和55年	44年	麻生町8丁目	夜間	合流	矩形管	3500	27.50	C	目視
217	線の施設(重要)	昭和55年	44年	麻生町8丁目	夜間	合流	矩形管	3500	12.50	C	目視
218	線の施設(重要)	昭和55年	44年	麻生町8丁目	夜間	合流	矩形管	3000	6.16	C	目視
219	線の施設(重要)	昭和61年	38年	北33条西8丁目	夜間	合流	矩形管	2400	15.21	C	目視
220	線の施設(重要)	昭和40年	59年	北34条西2丁目	夜間	合流	矩形管	2000	8.50	C	再判定
221	線の施設(重要)	昭和40年	59年	北34条西2丁目	夜間	合流	矩形管	1800	5.00	C	再判定
222	線の施設(重要)	昭和40年	59年	北34条西2丁目	夜間	合流	矩形管	1800	8.70	C	再判定
223	線の施設(重要)	昭和40年	59年	北34条西2丁目	夜間	合流	矩形管	1800	57.00	C	再判定
224	線の施設(重要)	昭和40年	59年	北34条西2丁目	夜間	合流	矩形管	1800	3.00	C	再判定
225	線の施設(重要)	平成3年	33年	北34条西2丁目	夜間	合流	矩形管	2000	20.43	C	目視
226	線の施設(重要)	昭和40年	59年	北34条西2丁目	夜間	合流	矩形管	1800	5.00	C	再判定
227	線の施設(重要)	昭和40年	59年	北34条西2丁目	夜間	合流	矩形管	1800	6.85	C	再判定
228	線の施設(重要)	昭和40年	59年	北34条西2丁目	夜間	合流	矩形管	1800	15.00	C	再判定
229	線の施設	昭和56年	43年	北11条西24丁目	夜間	合流	矩形管	2580	76.50	C	目視
230	線の施設	昭和56年	43年	北10条西24丁目	夜間	合流	矩形管	2580	126.69	C	目視
231	面の施設	昭和56年	43年	北10条西24丁目	夜間	合流	矩形管	2580	3.20	C	目視
232	線の施設	昭和56年	43年	北9条西24丁目	夜間	合流	矩形管	2520	114.63	C	目視
233	面の施設	昭和56年	43年	北10条西24丁目	夜間	合流	矩形管	2580	72.80	C	目視
234	線の施設	昭和56年	43年	北9条西24丁目	夜間	合流	矩形管	2520	9.78	C	目視
235	線の施設	昭和58年	41年	菊水元町1条1丁目	夜間	雨水	矩形管	2400	44.73	C	目視
236	線の施設	昭和58年	41年	菊水元町1条1丁目	夜間	雨水	矩形管	2400	75.62	C	目視
237	線の施設	昭和41年	58年	菊水元町6条3丁目	夜間	合流	矩形管	2400	34.86	C	特殊
238	線の施設(重要)	昭和41年	58年	菊水元町6条3丁目	夜間	合流	矩形管	2400	55.25	C	特殊
239	線の施設(重要)	昭和41年	58年	菊水元町6条3丁目	夜間	合流	矩形管	2400	29.35	C	特殊
240	線の施設	昭和41年	58年	菊水元町6条4丁目	夜間	合流	矩形管	2400	43.15	C	特殊
241	線の施設	昭和41年	58年	菊水元町6条3丁目	夜間	合流	矩形管	2400	92.64	C	特殊
242	線の施設	昭和41年	58年	菊水元町6条3丁目	夜間	合流	矩形管	2400	8.00	C	特殊
243	線の施設	昭和50年	49年	菊水元町8条3丁目	夜間	合流	矩形管	1680	48.58	C	目視
244	線の施設	昭和42年	57年	菊水元町7条4丁目	夜間	合流	矩形管	2400	125.60	C	特殊
245	面の施設	昭和41年	58年	菊水元町7条4丁目	夜間	合流	矩形管	2400	118.00	C	特殊
246	線の施設	昭和42年	57年	菊水元町7条4丁目	夜間	合流	矩形管	2400	2.40	C	特殊
247	線の施設	昭和56年	43年	北6条西24丁目	夜間	合流	矩形管	2520	61.40	C	目視
248	線の施設	昭和56年	43年	北8条西24丁目	夜間	合流	矩形管	2520	128.80	C	目視
249	線の施設	昭和56年	43年	北7条西24丁目	夜間	合流	矩形管	2520	128.00	C	目視
250	線の施設	昭和56年	43年	北7条西24丁目	夜間	合流	矩形管	2520	3.20	C	目視
251	線の施設	昭和56年	43年	北6条西24丁目	夜間	合流	矩形管	2520	63.80	C	目視
252	線の施設	昭和56年	43年	北5条西24丁目	夜間	合流	矩形管	2460	48.20	C	目視
253	線の施設(重要)	昭和56年	43年	北5条西23丁目	夜間	合流	矩形管	2460	7.00	C	目視

調査数量表

(別表)

業務名:西24丁目線(南4条西24丁目)ほか大口径管調査業務

No.	施設重要度	竣工年	経過年数	住所	作業区分	排除方式	管渠断面	管径	延長	管種	調査方法
254	線の施設	昭和56年	43年	北6条西24丁目	夜間	合流	矩形管	2520	3.80	C	目視
255	線の施設(重要)	昭和56年	43年	北5条西23丁目	夜間	合流	矩形管	2460	90.44	C	目視
256	線の施設(重要)	昭和56年	43年	北5条西23丁目	夜間	合流	矩形管	2460	85.00	C	目視
257	面の施設	昭和56年	43年	北3条西22丁目	夜間	合流	矩形管	2460	5.23	C	目視
258	面の施設	昭和56年	43年	北3条西22丁目	夜間	合流	矩形管	2460	62.40	C	目視
259	面の施設	昭和56年	43年	北3条西22丁目	夜間	合流	矩形管	2460	27.20	C	目視
260	面の施設	昭和56年	43年	北3条西22丁目	夜間	合流	矩形管	2460	30.23	C	目視
261	面の施設	昭和56年	43年	北3条西22丁目	夜間	合流	矩形管	2460	65.94	C	目視
262	面の施設	昭和56年	43年	北2条西22丁目	夜間	合流	矩形管	2460	105.10	C	目視
263	面の施設	昭和56年	43年	北2条西22丁目	夜間	合流	矩形管	2460	67.50	C	目視
264	線の施設(重要)	昭和57年	42年	北1条西23丁目	夜間	合流	矩形管	2460	49.83	C	目視
265	線の施設	昭和56年	43年	北1条西23丁目	夜間	合流	矩形管	2460	104.87	C	目視
266	線の施設	昭和56年	43年	大通西23丁目	夜間	合流	矩形管	2460	130.13	C	目視
267	線の施設(重要)	昭和57年	42年	大通西23丁目	夜間	合流	矩形管	2460	77.87	C	目視
268	線の施設	昭和57年	42年	南2条西23丁目	夜間	合流	矩形管	2460	59.30	C	目視
269	線の施設(重要)	昭和57年	42年	南1条西23丁目	夜間	合流	矩形管	2460	82.00	C	目視
270	線の施設	昭和57年	42年	南3条西23丁目	夜間	合流	矩形管	2460	130.70	C	目視
271	線の施設	昭和42年	57年	北郷3条1丁目	夜間	合流	矩形管	2400	107.53	C	特殊
272	線の施設	昭和40年	59年	北郷3条1丁目	夜間	合流	矩形管	2400	57.10	C	特殊
273	線の施設	昭和41年	58年	北郷4条1丁目	夜間	合流	矩形管	2400	17.80	C	特殊
274	線の施設	昭和42年	57年	北郷4条1丁目	夜間	合流	矩形管	2400	83.81	C	特殊
275	線の施設	昭和42年	57年	北郷4条1丁目	夜間	合流	矩形管	2400	73.66	C	特殊
276	線の施設(重要)	昭和41年	58年	北郷4条1丁目	夜間	合流	矩形管	2400	69.36	C	特殊
277	線の施設	昭和40年	59年	北郷2条1丁目	夜間	合流	矩形管	2400	2.80	C	特殊
278	線の施設	昭和40年	59年	北郷2条1丁目	夜間	合流	矩形管	2400	4.50	C	特殊
279	線の施設	昭和42年	57年	北郷3条1丁目	夜間	合流	矩形管	2400	59.42	C	特殊
280	線の施設	昭和42年	57年	菊水元町3条5丁目	夜間	合流	矩形管	2400	10.87	C	特殊
281	線の施設	昭和40年	59年	北郷3条1丁目	夜間	合流	矩形管	2400	1.50	C	特殊
282	線の施設	昭和40年	59年	北郷2条1丁目	夜間	合流	矩形管	2400	17.90	C	特殊
283	線の施設	昭和40年	59年	北郷2条1丁目	夜間	合流	矩形管	2400	1.80	C	特殊
284	線の施設	昭和40年	59年	北郷2条1丁目	夜間	合流	矩形管	2400	130.47	C	特殊
285	線の施設	昭和40年	59年	北郷2条1丁目	夜間	合流	矩形管	2400	21.46	C	特殊
286	線の施設	昭和40年	59年	北郷2条1丁目	夜間	合流	矩形管	2400	8.00	C	特殊
287	線の施設	昭和39年	60年	中央3条3丁目	夜間	合流	矩形管	2400	135.00	C	特殊
288	線の施設	昭和39年	60年	中央3条4丁目	夜間	合流	矩形管	2400	130.00	C	特殊
289	線の施設	昭和41年	58年	中央3条4丁目	夜間	合流	矩形管	2400	55.19	C	特殊
290	線の施設	昭和40年	59年	北郷1条1丁目	夜間	合流	矩形管	2400	137.90	C	特殊
291	線の施設	昭和41年	58年	北郷1条1丁目	夜間	合流	矩形管	2400	8.80	C	特殊
292	線の施設	昭和40年	59年	中央2条3丁目	夜間	合流	矩形管	2400	117.09	C	特殊
293	線の施設	昭和40年	59年	中央2条4丁目	夜間	合流	矩形管	2400	72.50	C	特殊
294	線の施設	昭和40年	59年	中央2条4丁目	夜間	合流	矩形管	2400	5.80	C	特殊
295	線の施設	昭和40年	59年	中央3条4丁目	夜間	合流	矩形管	2400	144.09	C	特殊
296	線の施設(重要)	昭和40年	59年	中央1条4丁目	夜間	合流	矩形管	2400	18.84	C	特殊
297	線の施設	昭和41年	58年	中央1条3丁目	夜間	合流	矩形管	2400	140.47	C	特殊
298	線の施設(重要)	昭和40年	59年	中央1条3丁目	夜間	合流	矩形管	2400	14.51	C	特殊
299	線の施設(重要)	昭和41年	58年	中央1条3丁目	夜間	合流	矩形管	2400	69.20	C	特殊
300	線の施設(重要)	昭和40年	59年	中央2条3丁目	夜間	合流	矩形管	2400	143.76	C	特殊
301	線の施設(重要)	昭和50年	49年	菊水元町7条4丁目	夜間	合流	矩形管	1680	112.28	C	目視
302	線の施設(重要)	昭和50年	49年	北郷6条3丁目	夜間	合流	矩形管	1680	24.03	C	目視
303	線の施設(重要)	昭和50年	49年	北郷6条3丁目	夜間	合流	矩形管	1680	5.50	C	目視
304	線の施設(重要)	昭和50年	49年	北郷6条3丁目	夜間	合流	矩形管	1680	36.00	C	目視
305	線の施設(重要)	昭和50年	49年	北郷6条3丁目	夜間	合流	矩形管	1680	44.09	C	目視
306	線の施設	昭和50年	49年	北郷7条3丁目	夜間	合流	矩形管	1680	137.09	C	目視
307	線の施設	昭和48年	51年	北郷8条3丁目	夜間	合流	矩形管	1610	53.53	C	目視
308	線の施設	昭和48年	51年	北郷8条3丁目	夜間	合流	矩形管	1680	93.32	C	目視
309	線の施設	昭和48年	51年	北郷9条3丁目	夜間	合流	矩形管	1610	41.68	C	目視
309	線の施設	昭和48年	51年	北郷9条3丁目	夜間	合流	矩形管	1610	86.84	C	目視
310	線の施設	昭和48年	51年	北郷6条3丁目	夜間	合流	矩形管	1610	44.31	C	目視
311	線の施設	昭和49年	50年	北郷9条3丁目	夜間	合流	矩形管	1610	30.70	C	目視
312	線の施設	昭和49年	50年	北郷9条3丁目	夜間	合流	矩形管	1610	75.71	C	目視
313	線の施設(重要)	昭和49年	50年	北郷9条7丁目	夜間	合流	矩形管	1610	47.56	C	再判定
314	線の施設(重要)	昭和49年	50年	北郷9条7丁目	夜間	合流	矩形管	1610	16.00	C	目視
315	線の施設	昭和49年	50年	北郷9条7丁目	夜間	合流	矩形管	1610	46.56	C	目視
316	線の施設	昭和49年	50年	北郷9条7丁目	夜間	合流	矩形管	1610	41.29	C	目視

調査数量表

(別表)

業務名:西24丁目線(南4条西24丁目)ほか大口径管調査業務

No	施設重要度	竣功年	経過年数	住所	作業区分	排除方式	管渠断面	管径	延長	管種	調査方法
317	線の施設	昭和49年	50年	北郷9条7丁目	夜間	合流	矩形管	1610	41.99	C	目視
318	線の施設	昭和49年	50年	北郷9条7丁目	夜間	合流	矩形管	1610	40.36	C	目視
319	線の施設	昭和48年	51年	北郷9条3丁目	夜間	合流	矩形管	1610	30.70	C	目視
320	線の施設	昭和57年	42年	南3条西23丁目	夜間	合流	矩形管	2460	64.08	C	目視
321	線の施設	昭和57年	42年	南4条西23丁目	夜間	合流	矩形管	2340	120.00	C	目視
322	線の施設	昭和57年	42年	南5条西23丁目	夜間	合流	矩形管	2340	120.00	C	目視
323	線の施設	昭和57年	42年	南7条西23丁目	夜間	合流	矩形管	2340	33.00	C	目視
324	線の施設	昭和57年	42年	南6条西23丁目	夜間	合流	矩形管	2340	100.00	C	目視
325	線の施設	昭和57年	42年	南7条西23丁目	夜間	合流	矩形管	2340	119.98	C	目視
326	線の施設	昭和57年	42年	南7条西23丁目	夜間	合流	矩形管	2340	47.00	C	目視
327	線の施設(重要)	平成4年	32年	南8条西23丁目	夜間	合流	矩形管	2340	152.00	C	目視
328	線の施設	昭和41年	58年	中央1条4丁目	夜間	合流	矩形管	2400	115.15	C	特殊
329	線の施設	昭和41年	58年	中央1条4丁目	夜間	合流	矩形管	2400	10.00	C	特殊
330	線の施設	昭和41年	58年	中央1条4丁目	夜間	合流	矩形管	2400	50.41	C	特殊
331	線の施設	昭和41年	58年	中央1条4丁目	夜間	合流	矩形管	2400	128.32	C	特殊
332	線の施設	昭和41年	58年	東札幌4条4丁目	夜間	合流	矩形管	2160	17.03	C	特殊
333	線の施設	昭和42年	57年	東札幌4条4丁目	夜間	合流	矩形管	2160	21.35	C	特殊
334	線の施設	昭和42年	57年	東札幌6条4丁目	夜間	合流	矩形管	2160	43.86	C	特殊
335	線の施設	昭和41年	58年	東札幌4条4丁目	夜間	合流	矩形管	2160	61.34	C	特殊
336	線の施設	昭和41年	58年	中央1条4丁目	夜間	合流	矩形管	2400	2.04	C	特殊
337	線の施設	昭和42年	57年	東札幌5条4丁目	夜間	合流	矩形管	2160	86.29	C	特殊
338	線の施設	昭和42年	57年	東札幌4条4丁目	夜間	合流	矩形管	2160	108.23	C	特殊
339	線の施設	昭和42年	57年	東札幌2条5丁目	夜間	合流	矩形管	2160	29.96	C	特殊
340	線の施設(重要)	昭和42年	57年	東札幌2条5丁目	夜間	合流	矩形管	2160	21.35	C	特殊
341	線の施設(重要)	昭和42年	57年	東札幌3条4丁目	夜間	合流	矩形管	2160	247.49	C	特殊
342	線の施設(重要)	昭和42年	57年	東札幌2条5丁目	夜間	合流	矩形管	2160	40.88	C	特殊
343	線の施設	昭和42年	57年	東札幌2条5丁目	夜間	合流	矩形管	2160	35.11	C	特殊
344	線の施設	昭和42年	57年	東札幌2条5丁目	夜間	合流	矩形管	2030	18.50	C	特殊
345	線の施設	昭和42年	57年	東札幌2条5丁目	夜間	合流	矩形管	2030	108.34	C	特殊
346	線の施設	昭和42年	57年	東札幌2条5丁目	夜間	合流	矩形管	2030	43.00	C	特殊
347	線の施設	昭和42年	57年	東札幌2条5丁目	夜間	合流	矩形管	2030	43.00	C	特殊
348	線の施設	昭和42年	57年	東札幌2条5丁目	夜間	合流	矩形管	2030	43.00	C	特殊
349	線の施設	昭和42年	57年	東札幌2条6丁目	夜間	合流	矩形管	2030	42.66	C	特殊
350	線の施設	昭和42年	57年	東札幌2条6丁目	夜間	合流	矩形管	2030	8.90	C	特殊
351	線の施設(重要)	昭和43年	56年	東札幌2条6丁目	夜間	合流	矩形管	2030	131.79	C	特殊
352	線の施設	昭和43年	56年	東札幌2条6丁目	夜間	合流	矩形管	2030	40.72	C	特殊
353	線の施設(重要)	昭和43年	56年	東札幌2条6丁目	夜間	合流	矩形管	2030	17.00	C	特殊
354	線の施設(重要)	昭和43年	56年	東札幌2条6丁目	夜間	合流	矩形管	2030	51.02	C	特殊
355	線の施設	昭和42年	57年	東札幌2条6丁目	夜間	合流	矩形管	2030	38.10	C	特殊
356	線の施設(重要)	昭和43年	56年	美園2条7丁目	夜間	合流	矩形管	2100	216.32	C	特殊
357	線の施設(重要)	昭和43年	56年	東札幌1条6丁目	夜間	合流	矩形管	2030	206.38	C	特殊
358	線の施設(重要)	昭和43年	56年	美園2条7丁目	夜間	合流	矩形管	2100	9.30	C	特殊
359	線の施設(重要)	昭和45年	54年	美園2条8丁目	夜間	合流	矩形管	1980	178.50	C	特殊
360	-	不明	不明	処理場内	夜間	雨水	矩形管	3200	157.46	C	目視
361	-	不明	不明	処理場内	夜間	雨水	矩形管	2500	82.02	C	目視
362	-	不明	不明	処理場内	夜間	雨水	矩形管	2000	62.63	C	目視
363	-	不明	不明	処理場内	夜間	雨水	矩形管	2000	28.19	C	目視
364	-	不明	不明	処理場内	夜間	合流	矩形管	1620	29.04	C	目視

昼間:昼間作業とは、AM9時～PM5時の作業を標準とする。

夜間:夜間作業とは、PM9時～AM5時の作業を標準とする。

管種のCはコンクリート管、Vは塩ビ管。

調査方法の目視は潜行目視調査、TVはテレビカメラ調査、特殊は船体式、自走式、浮体式又は飛行式カメラ調査。